



作品リスト
解説テキスト：木原結花

1. 《行旅死亡人 (N34° 38'1"E135° 6'17")》
2019年
シングルチャンネルHDビデオ・カラー・サウンド
13分

Unidentified deceden
(N34° 38'1"E135° 6'17")
2019
Single-Channel HD video, Color, Sound
13min

行旅死亡人とは、氏名や戸籍等が判明しない身元不明の遺体を指す言葉である。遺体の情報は官報や新聞、警察のホームページなどで文字で公告されている。私は必要最低限の文字情報から、遺体の生前の姿を想像し、コラージュによって人物像を作成した。さらに遺体が発見された場所の風景を撮影し、コラージュによって作成した人物像とを合成して、その場で撮影された様なポートレート写真を制作した。

作成した行旅死亡人のポートレート写真を持って、その行旅死亡人に関する場所に赴く。そこで出会った人たちに作成したポートレート写真を見せ、「この人探しているのですが見た事ないですか？」と質問をした。

2. 《行旅死亡人 (兵庫県姫路市飾磨新西防波堤灯台付近)》
2017年
サイアノタイプ
180.0×50.0cm

Unidentified deceden (Near Shikama Shin-Nishi Breakwater Lighthouse, Himeji City, Hyogo Prefecture)
2017
Cyanotype
180.0×50.0cm

この作品は「サイアノタイプ」と呼ばれる太陽写真を用いて制作した。行旅死亡人の文字情報からフォトモンタージュによって作成した人物像の等身大ネガフィルムと、感光材を塗った画用紙を重ねて、実際に行旅死亡人が発見された現場の太陽

光で感光させた。またその場で水洗現像し、乾燥も行った。

現場が日陰であれば感光せず白抜けし、風が吹くと画用紙は煽られ皺ができる。さらに強風の場合は原型が判らない程に破れてしまう。破れた画用紙を拾っていると、まるで散り散りとなった骨を拾い集めている様な錯覚を覚える。

私は、彼らが薄れゆく意識の中で感じたであろう太陽の光や地面の感触、風などを記録できないかと考えた。何故なら、それらの物理的な刺激も、彼らの人生を構成する重要な要素であったからだ。しかし普通のカメラで写される「写真」では、それら物理的な刺激を記録することはできない。そこで私はレンズを通さず直接太陽光で露光できるサイアノタイプの手法を用いた。また、あえて風の影響を受けやすい画用紙を支持体を選んでいる。

出来上がったプリントを見てみると、サイアノタイプの特徴である青色の中に、文字情報から紡ぎだした人物像が浮かび上がっている。この人物像は文字情報から私が導き出したモンタージュであるため、実際の彼らの姿では決していない。しかし、社会の周縁に消え去った名前も顔も分からない彼らを捉えるためには、彼らの姿を仮構するしかない。

写真は形象を写す装置であるが、私はこの作品で形象を写すのではなく、形象を作り与えた。形象は、写真という装置でなければ与える事ができないと、私は考える。薄れゆく意識の中で感じた太陽光が皮膚をヒリヒリと刺激する感覚を、彼らはどのような気持ちで感じていたのか。私はそれを知る事はできない。それもまた理解しようとするとは仮構するしかないので、私は大変もどかしく思う。

3. 《行旅死亡人》
2016年
新聞の切り抜き, 写真
各22.0×27.3cm、10点組

Unidentified deceden
2016
Newspaper clipping, Photography
each 22.0×27.3cm, set of 10

「行旅死亡人」を取り上げた最初の作品である。文字情報を基にその人物がどのような姿であったのかを想像し、フォトモンタージュで人物像を作成した。さらに遺体が発見された場所を撮影し、作成した人物像と合成することで、あたかもその場で撮影された様なポートレート写真を制作したものである。

私はアイデンティティを見出されないまま事務的な作業で処理される人物にアイデンティティを求め、ある種それを与える作業を行った。しかし、それは同時に本物のアイデンティティを隠してしまう。ではこの出来上がったイメージはいったい何なのか。虚構なのか、事実なのか、そのどちらでもあるのか。虚構なのか、ないのか。あやふやで掴みきれないそのあり方は、まさに「行旅死亡人」と呼べるものではないだろうか。

4. 《ここにいるはずだったあなたの。世界にはない現象でああなたの形を作成する》
2023年
紫外線硬化樹脂 (UVレジン) ・シリコン
インスタレーションサイズ可変

Your existence that was supposed to be there. Creating your appearance with phenomena that are not in the world
2023
UV-Resin, Silicone
Dimension variable

あるアニメの聖地に赴き、その場所の太陽光で紫外線硬化樹脂、通称「UVレジン」を固めた立体作品と、それによるインスタレーションである。使用したシリコン型は、とあるアニメのキャラクターの実寸の人型で、その型にUVレジンを流し込む。流し込んだUVレジンが重力に従って型の中へ流れ、太陽光によって硬化する。重力によって破けたシリコンの型の隙間からUVレジンが流れ出し、私の体に沿って硬化したものもある。

*本作は会期中、重力や風によってシリコンが裂けるなど、状態が変化する可能性があります。

(表面より)

この作品を制作した場所は、とあるアニメの舞台となった場所だがアニメの世界と私たちが生きている世界に存在する物質や現象は同じものではない。ここがそのアニメの聖地で、ここにキャラクターがいたのだとしても、そのキャラクターが吸っている空気は私が吸っている空気と同じではないし、私の肌を焼く太陽光で同じ様に日焼けをすることもない。その身体の感覚の違いが、同じ世界に存在することが出来ないという事を意味している様に思う。

同じ場所に立っているはずなのに、まるで見えない薄膜に隔てられているように感じた。この制作は、たとえ私の生きる世界とキャラクターたちが生きている世界が違うのだとしても、この場所の太陽でキャラクターも日に焼ける痛みを感じたかもしれない—そう信じるしかない祈りの行為である。

そして、私が生きているこの世界の現象で形を作ろうとしても、うまくいかないのは当たり前なのだ、気づいた。

「そこにいるはずだったあなたの。世界にはない現象であなたの形を作成する」を作るにあたって

14歳から15歳の間、私は引きこもりになり、その間たくさんのアニメに触れた。一日中パソコンに向かい、貪るようにアニメを見た。気がつけば日に焼けていた肌が真っ白になっていた。

少しづつ外に出られるようになったある日、私はとあるアニメの聖地へ行こうと思立った。そこは海の町だ。慣れない電車に乗り、引きこもっている間に衰えた体を引きずり、その場所にたどり着いた。そこは。

そう。海の町だ。

キャラクターたちはどこにもいない。

アニメの世界にあったような、ハッとするような色ではない海を眺めた。紫外線が強く、白抜けした肌にはとてもキツかった。

この紫外線はアニメの世界の中にもあるのだろうか？

このキツイ紫外線の中、同じように肌を焦がすことはあるのだろうか？

まるでその場所には見えない膜があり、その膜の向こう側に彼女たちがいることを祈るしかなかった。

現実感も非現実感もない空間がそこにはあったが、紫外線の強い太陽光による肌の痛みと飛蚊症がよく見えるくらいの青い空がとてもリアルだったことを覚えている。

その感覚がもたらした、どこにも行けなさを今でも覚えている。

5. 《そこにいるはずだったあなたの。世界が遠い》
2023年
サイアノタイプ
47.0×72.5cm

Your existence that was supposed to be there. The world is far away
2023
Cyanotype
47.0×72.5cm

太陽光で感光するサイアノタイプを使用した作品。とあるキャラクターが手を差し伸べるアニメのカットを用いて、ネガフィルムを作る。それをサイアノタイプの薬品を塗った支持体の紙に乗せ、ネガフィルムの上から私の手を重ねて太陽光で感光させた。

写し出された画は、私の手は実態のない影となり白く写し出され、まるで海の底から伸びているキャラクターの手に触れようと、そちらの世界へ行こうとしている様に見える。しかし、この手に触れることは一生ないし、そちらの世界に行けることは一生できない。

6. 《そこにいるはずだったあなたの。世界にはない現象であなたの形を作成するためのプロセス》
2023年
シングルチャンネルHDビデオ・カラー・サウンド
17分13秒

Your existence that was supposed to be there. Process for creating your appearance with phenomena that are not in the world
2023
Single-Channel HD video, Color, Sound

17min 13sec

この映像は、「そこにいるはずだったあなたの。世界にはない現象であなたの形を作成する」の制作風景の記録映像である。

7. 《そこにいるはずだったあなたの。世界にはない現象であなたの形を作成するためのプロット》
2024年
シングルチャンネルHDビデオ・サイレント
65分20秒

Your existence that was supposed to be there. Plot for creating your appearance with phenomena that are not in the world
2024
Single-Channel HD video, Silent
65min 20sec

「そこにいるはずだったあなたの。世界にはない現象であなたの形を作成する」にとって、重要な過去の出来事とその感覚・感情を思い出しながらとったメモ的な何かを記録した映像。過去の感情や感覚を思い出したり、それを言葉にすることはなかなか上手くいかない。書きながら「これは違う」「これの言葉は違う」